



横浜市立桂小学校

# 桂小だより

KATSURA NEWS LETTER

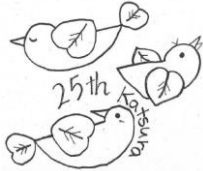
12月号

令和4年11月30日

Web: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/katsura/>

学校についての詳細や学校生活についてはHPをご覧ください。

E-mail: [y3katura@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3katura@edu.city.yokohama.jp) 桂小学校HPのQRコードはこちら→



## 「誰か」のことじゃない

校長 寺澤 みゆき

世界人権宣言の採択日である「人権デー (Human Rights Day)」を最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と言い、全国各地で集中的に人権啓発活動が行われます。

私は、この時期になるとふっと思い出すことがあります。

それは、朝のことでした。いつもの時間になっても、担任の先生が教室に来ません。どうしたのかと皆が落ち着かなくなったころ、泣きじゃくっているひとりの友達と一緒に、担任の先生が入ってきました。何ごとだろうと驚き、皆が黒板前に注目する中、担任の先生が話し始めました。

「突然のことだけど、〇〇さんが家の事情で引っ越すことになりました。それで、この学校に来るのが今日で最後になりました。」

皆が驚きのあまり声も出ない中、〇〇さんは泣きじゃくりながら別れの言葉を言い、そのまま先生と共に教室から出ていってしまいました。

残された私たちは、いなくなった友達について、思ったことや想像したことをロタに話していました。ある子が大きな声で、「ああ、いなくなってせいせいした!」と言った時、多くの子が一斉に笑いました。どんな気持ちでその言葉を言ったのか、今となっては分かりませんが、笑ったひとりであった私は、その大きな声で緊張が緩み、わっと笑ってしまったことを覚えています。

その声を聞きつけ戻ってきた担任の先生が声を振り絞り、「私は、情けない。〇〇さんの気持ちを考えて、悲しい気持ちでいるのに、それを笑うなんて。」と、言われました。いつも優しい先生が怒っている。これは、本当にいけないことをしたんだ。ぴたっと笑いが止まり、教室にいた全員が皆、自分たちの行動が間違っていたことを理解した瞬間でした。相手の辛い気持ちを理解できていないばかりか、自分たちの動揺を抑えるために、その人の存在すら否定する言葉に同調してしまった。

それからの私は、教室に残された〇〇さんの荷物を目にするたび、胸の奥がきゅうっ、となったことを覚えています。そして、今でもこのことは忘れられません。

先日、4年生の宿泊体験学習でプロジェクトアドベンチャーを行いました。(プロジェクトアドベンチャーとは、グループで課題解決を行うことで、個人の成長とグループ内の人間関係づくりを支援する体験活動です。)活動終了時の振り返りで、「初めは、できない人や協力してくれない人にきつい言い方をしてしまっていたけれど、だんだんと優しい言い方になってきた。」「他の人の気持ちを考えて、どうしたらみんなのできるか考えた。」との言葉に、子どもたちの成長を感じました。

人権を尊重することの第一歩は、相手の存在を認め、気持ちを想像することだと思えます。仲間を大切に思い尊重する気持ちを育てるために、桂小学校でも取組を行っていきたく思います。(桂小学校の人権週間は、休日を除いて12月5日から9日に設定しました。)

「誰か」のことじゃない。私や仲間のこと。自分ごととして振り返る、人権週間にしていきます。

地域や保護者の皆様、今月も桂小学校の教育活動に対しての御理解と御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

～誰一人取り残さない学びの機会を～

桂小は「横浜どこでもスタディ」に取り組みます

横浜市では、不登校など様々な事情で長期にわたって学校に登校できていない児童生徒が、自宅等で授業に参加できるような取組を行っています。

本校でも、児童の状況や教育的ニーズによって、主に次の3つの取組を行っています。

【取組1】 ロイロノートを利用して、学習課題をオンラインで配付及び提出する。

【取組2】 はまっ子デジタル学習ドリル等を活用して、家庭学習を進めたり、担任がその状況を確認したりする。

【取組3】 朝の会や帰りの会等で友達と顔を合わせたり、必要に応じてオンラインで授業配信を行ったりする。